

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会報告書

【小学校 国語】

所 属 名 県教育庁学校教育課
職名・氏名 指導主事 五十嵐 優美子

【報告書のポイント】

- ・学習評価等の課題に対して、**指導事項が具現化された子供の姿**を言語化することができ、自分の授業改善に生かせるよう、現場の先生方の**意識の変化**が必要である。
- ・**「何のために学ぶのか」**という**国語科を学ぶ意義を共有**することが大切である。

行政説明 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 大塚 健太郎 氏

協議題① 学習評価の課題について

指導主事連絡協議会の協議で見られた学習評価に関する課題



- ① 指導事項を子供の姿で具現化できていない
- ② 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の周知徹底ができていない
- ③ 学習評価が授業改善に生かされていない
- ④ 教育委員会は伝えているが・・・

・本次学習指導要領実施4年目、充実期を迎える今、よりよい実践に向け、改善を模索していく必要がある。

・学習評価を語る前に、学習計画のどこで**評価**をするのか、なぜそのような**授業展開**を行うのか、その**意図**が**明確にされない**まま行われている授業が多くみられる。

↓

○現場の先生方の**意識の変化**が必要。

①指導事項を子供の姿で具現化



・学習指導要領の理解

→学習指導要領解説総則編と合わせて理解してもらう

・指導案における単元の目標、単元の評価規準等への位置付け

→『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』を使い、指導事項の系統性や学習過程の明確化の具体を示していく

・言語活動や教材に応じた具体的な子供の姿の想定

→指導主事と教師が同じ授業を見て、子供の姿を共有する

→実際の言語活動を体験することを助言する

→授業で、どんな発言、記述、行動等が見たいのかを考えてもらう

特に、第3章 教育課程の編成及び実施と学習評価を合わせて理解することが大切。

授業づくりのステップ1～5を意識した指導、助言。

育成すべき指導事項を発揮している具体の姿は、その教材を通してどのように立ち現れてくるのか、教師が言語化できているか。

↓

例)「ごんぎつね」ではノートにどのような記述がなされれば、登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に考えられたことになるのか。

②「主体的に学習に取り組む態度」の周知徹底



・評価の観点の整理

→参考資料(P9) (3)「主体的に学習に取り組む態度」の評価について 参照

→性格や行動面の傾向を評価することではないことの強調

・整え方が分からない

→参考資料(P38) step3 単元の評価規準の設定 を参照

・評価の時期や方法の理解

→「知識及び技能」の獲得 「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりすることに向けた粘り強さ 試行錯誤

→参考資料(P13) 第2章 学習評価の基本的な流れ 参照

・周知徹底できない

→指導主事と教師と一緒に単元をつくる

→教師に具体の姿を言語化して示す

単に粘り強く取り組めればいい、学習内容に興味を示しさえすればいいという誤った理解。

↓

「知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするための」主体的に学習に取り組む態度であること。

具体の姿は、教師と指導主事が同じ子供の姿を共有することが大切。

抽出見を決め、同じ子供の姿を見て、具現化した姿を言語化することも効果的。

協議題① 学習評価に関する課題

③学習評価の授業改善に向けた活用



- ・評価時期が終末に偏る
 - 児童が学習改善に生かす学習評価を行えるようにすること
 - 学習活動の特性に合わせた学習評価の時期を考えること
- ・学習評価の意識が低い
 - 教師の「指導と評価の一体化」の意識を向上させていくこと
- ・評価計画が立てられない
 - 指導計画と評価計画を同時に構想させること
 - 評価規準を達成している子供の姿を学校全体で描けるようにしていくこと
- ・単元終わりの評価テスト＝学習評価
 - 本当に指導事項が評価できる方法か再検討を促すこと
- ・成果物のみで評価
 - ICT端末等を使い、行為、思考の足跡等を蓄積していくこと
- ・言語活動を評価している
 - 資質・能力の育成に向けた手段であることの理解を徹底させること

・本来、学習評価は授業改善に結び付くもの。PDCAサイクルをどのように回すかを意識することが大切。児童が学習を進めていく授業、児童自身が学習改善に生かす評価→指導にのみ重点が置かれた授業改善ではなく、指導と評価を一体化して授業改善を考えていく。

「テスト＝学習評価」という評価観から抜け切れていない。

言語活動を通して、資質・能力を育成するのであり、それ自体の出来栄や成果を評価するわけではない。そこに向かうための過程を見取る。

協議題① 学習評価に関する課題

④教育委員会の取組



- ・パンフレット
 - 研修の教材に組み入れる
 - モデルの提示となり固定化に留意
- ・動画（オンデマンド）
 - コンテンツを短く 内容を絞って
 - 視聴時間の確保が課題
- ・研修プログラム
 - 教材を指定して指導案を実際につくる
 - 単元づくりから協働で行う
 - 動画で撮影した授業を視聴した後、協議会を行う

パンフレットを研修の中の教材に組み入れる形にすることで、内容が置き忘れられることにならない。一方、定着するほど、単に真似ればいいという固定化を招きかねない。

一定の成果は見込まれるが、視聴する時間が研修の時間として現場で確保されていない。

工夫された研修プログラムでこのような取組を行っている自治体や学校が多数ある。

協議題①の課題例について



学習評価を行う時期と方法

- 単元の1時間目に内容に対する興味関心を評価するという誤解。
ただし、児童の実態を把握することは大切です。
- 試行錯誤できる学習展開でなくては、「主体的に学習に取り組む態度」は評価できない。他も、学習や時間のまとまりで評価する。
- 毎時間3観点での評価をする必要はない。

まずは、このような状態になっていないかを、指導案の時点で確認。

「知識・技能」と「思考・判断・表現」の関係

- 「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」は、相互に関連しながら育成される必要がある。
- 「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」は、国語で正確に理解し適切に表現する上で共に必要となる資質・能力である。

二つの指導事項が意味ある関連になっているかを確認。

協議題①の課題例について



評価場面の実際

- 知識・技能
学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価する。
事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮する。実際に知識や技能を用いる場面を設ける。
(ペーパーテスト以外に、例えば、説明、短文づくり等)
- 思考・判断・表現
知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。
「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通じ、児童が思考・判断・表現する場면을効果的に設計した上で、指導・評価する。
(例えば、レポート、口頭発表、グループでの話し合い、作品等)

知識及び技能を活用して、様々な課題を解決するために使われている思考力、判断力、表現力を評価していく。そのつながりを見る。

主体的に学習に取り組む態度の評価の実際

- 意思的側面を見取るために、思考の足跡を可視化する工夫
- 粘り強さを発揮するには、試行錯誤できる単元展開の工夫
- 他の観点の状況を踏まえた上で評価を行うことへの留意

このようなことが工夫されているか、保証されているか確認することが大切。

- どこでどのように評価するのか想像できていない
- 指導事項が具現化された児童の姿がイメージできない
- 児童の学習改善、教師の指導改善に生かす学習評価の実際が分からない
- 主体的に学習に取り組む態度の評価方法が分からない

- ・共通して課題となっているのが、**指導事項が具現化された児童の姿。**

↓

- どのように**現場で共通理解**していくか。

今回（秋）の協議での背景・・・

①指導事項を子供の姿で具現化

②「主体的に学習に取り組む態度」の周知徹底

③学習評価の授業改善に向けた活用

④教育委員会の取組

指導事項を子供の姿で具現化するとは・・・



1枚目に場面の移り変わりにつれて**気持ちの変化がわかる言葉**（「にくらしい」→「取り返しのつかないことをした」）が確かに書いてあるから、これは移り変わりを読めていると判断できる。

Ⅰ枚目で子供が具体的に想像した言葉が、最終的なまとめの文章に入っているかどうか。具体的にどの言葉を何か所使うかまでを具現化していく。

- ・先生方がこのイメージを体感し、自分の授業改善に生かせるよう、補助資料を活用して理解することが大切。

【読むこと】において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。

ワークシート内の記述を使ってまとめている
「ていねいにくりをかてめておこう」
(具体的に想像している)

図1: 児童1が「このお城にうたれてしまう場面」についてまとめたワークシート

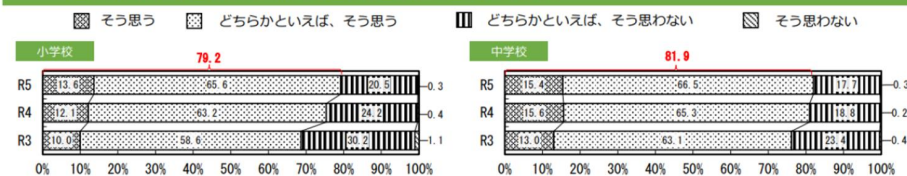
2つの場面を結び付けている
にくらしい→取り返しのつかないことした
(場面の移り変わりと気持ちの変化)

図2: 児童1がごんの思いが伝わったかどうかについてまとめたノート

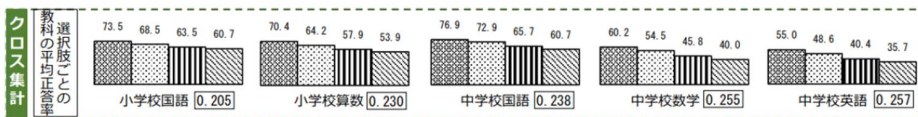
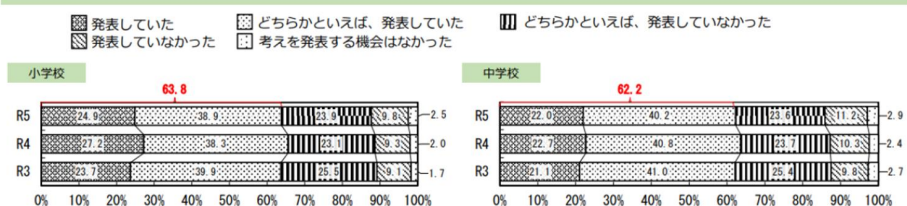
協議題② 全国学力・学習状況調査による課題

R 5 年度全国学力・学習状況調査の結果概要（児童、学校）

【学校】 調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。



【児童生徒】 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。



【学校】

・「授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができているか」について、**年々増えて**きている。

【児童】

・若干の減少。コロナ禍において、画面越しでの対話やコミュニケーションだったからこそ、話の組み立てを考えた可能性。

いずれにしても高い数値。



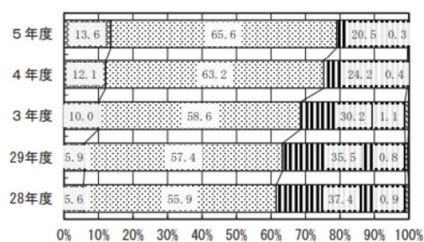
○**工夫しながら自分の考えを伝えていくことが徐々に広がっている。**

協議題② 全国学力・学習状況調査による課題

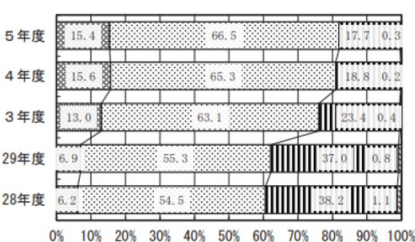
全国学力・学習状況調査 質問紙の経年変化

	質問番号	前回の比較	最大9回前の比較	質問事項
小	27	→	↗	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか
中	27	→	↗	

【小学校】



【中学校】



☒ そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思わない
 ☐ そう思わない
 ☐ その他、無回答

・同様の質問事項の経年変化を見ると、かなり**増えて**いる。

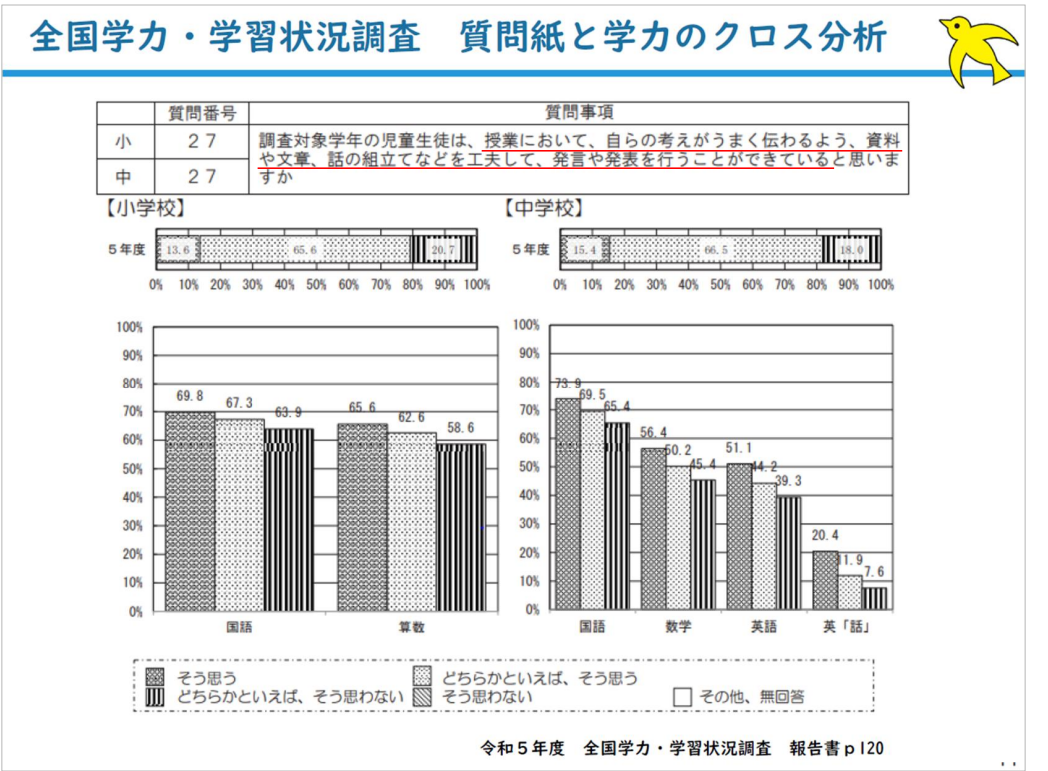


・その**言語能力の育成は、国語科の基礎的・基本的なものではあるが、国語科だけで、話し合いや発表等をすべて支え切れるわけではない。国語の授業だけではその回数が圧倒的に限られてしまう。**



○**カリキュラム・マネジメントの意識を持ちながら、他の教科に広がっていく、実践的に活用する場**とのつながりを大切にしていく。

協議② 全国学力・学習状況調査による課題



協議題② 全国学力・学習状況調査による課題

「話すこと・聞くこと」領域における課題



課題を踏まえた指導改善のポイント②（話すこと・聞くこと）

問題Ⅱ 四

② 互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる指導

調査問題と調査結果

「話し合いの様子の一部」

四 岡さんは、「話し合いの様子の一部」の「話し合い」か「花植え」かをどちらかを選んで話そうとしています。あなたが岡さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

○「話し合い」か「花植え」かをどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。

○「話し合いの様子の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、八十文字以内でまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は文字数にはくくらない。

（正答例）

みなさんのアイデアや（メモ）から、取り組みやすいという理由で、私は「話し合い」を選びました。

（正答率 47.8%）

学校の近くの公園をきれいにすることについて、様々な点から検討し、複数のアイデアのよい点と問題点を明確にしながら話し合うという設問。

- ・ ゴミ拾いをするのか、花を植えていくのか、自分の立場を選んで、解決方法を述べる。

R4年度 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会 資料

協議題② 全国学力・学習状況調査による課題

「解答類型」に注目し、児童のつまずきを分析することが、学習指導の改善・充実の鍵

解答類型	反応率 (%)	正答
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を取り上げて書いている。 a 「話し合い」か「花植え」かをどちらかを選んで書いている。 b 選んだアイデアの問題点に対する解決方法を書いている。 ② 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 50文字以上、80文字以内で書いている。		
1 条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	47.8	◎
2 条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.2	
3 条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	3.0	
4 条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。		
(例) ・ 公園に花を植えたいと思います。理由は、公園はなやかにすれば、みんなも花から元気をもらえるからです。(52字) ・ ごみ拾いがいいと思います。やり続けようという気持ちをもち、すぐにできるからです。(41字)		
「話し合い」か「花植え」かをどちらかを選び、【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書いているが、選んだアイデアの問題点に対する解決方法を書いていません。この中には、問題点に対する解決方法にふれず、アイデアを選んだ理由などを書いている解答が見られました。 話し合いの目的を認識することができなかつたり、問題点を捉えることができなかったと考えられます。また、問題点を捉えることができて、問題点を踏まえた自分の考えをまとめることができなかった児童もいたと考えられます。	36.0	

「考えをまとめる」とは、話し合いを通して様々な視点から検討し、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点をまとめること。話し合った後で考えをまとめる際には、様々な視点から検討したことを踏まえて、自分の考えをまとめることが求められる。

【解答類型 4】

- ・ 話し合いの目的を意識できていない。
- ↓
- 話し合いの目的を意識できないまま、話し合いだけが行われている。つまり、活発に話し合いが行われているように見えても、その中身が整っているのかの確認が必要。

【解答類型 4】

- ・ 問題点を捉えられていない。
- ↓
- 話し合うことの経験数が少ない可能性。「話し合い」というワードによるカリキュラム・マネジメントの視点が必要。

R4年度 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会 資料

- 【課題】**

- ↓
- 自分の文章が最終的にどのように改善されたのかを確認することが大切。

↓
今まで書いた文章を相手や目的を変えて、同じ題材を書き分ける、一部を使って推敲の学習をしてみるなどのように、どの指導項目を重点として学習を組んでいくのかを工夫する。

ア 題材の設定 情報の収集 内容の検討	イ 構成の検討	ウ 考えの形成 記述	エ 推敲	オ 共有
------------------------------	------------	------------------	---------	---------

設問二

目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

[illegible]

↓

- ・気持ちよく学校生活を送ることができるように、一人一人が責任をもって使ったものは片付けることが大切だということを、反論を想定しながら書き表す。

協議題② 全国学力・学習状況調査による課題

「解答類型」に注目し、児童の反応を分析することが、学習指導の改善・充実の鍵です		反応率 (%)	正答
解答類型			
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を取り上げて書いている。 a 「そうじたん当の人などがかたづけられよう」という考えに反対する意見 b 「そうじたん当の人などがかたづけられよう」という考えに反対する理由 ② 【西田さんの話】から言葉や文を取り上げている。 ③ 60字以上、100字以内で書いている。			
1	条件①a, bの両方と、条件②、③を満たしているもの	56.7	◎
2	条件①a, bの両方と条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.3	
3	条件①a(意見), b(理由)の両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	12.0	
(例) ほくは、一人一人がしっかり責任を持ってかたづけるべきだと思います。なぜなら そうじたん当の人が大変になってしまし、しっかりとかたづけたら次に使う人が気持ち よく使えるからです。(85字)			
自分の考えに説得力をもたせるために、客観的な事例として【西田さんの話】を用いて詳しく 書き直そうとしている丸山さんの意図を捉えることができていないと考えられます。			
4	条件①a(意見), ②は満たしているが、条件①b(理由)は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	11.8	
(例) しかし、わたしは「そうじたん当の人などがかたづけられよう」という考えに反対 です。そうじたん当の人がかたづけたら、時間が足りなくなってしまう、はきそうじ などに手が回りません。(86字)			
詳しく書き直すために、反対する理由を明確にして書くようとしている丸山さんの意図を捉えるこ うができていないと考えられる。「なぜなら」「理由は～」「～で」「～から」などの理由を示す 言葉を用いることができなかった児童や、考えと理由とのつながりを捉えることができなかった児童 がいたと考えられる。			
54			38
調査結果(解答類型)			
5	条件①a(意見)は満たしているが、条件①b(理由), ②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	7.3	
(例) しかし、わたしは遊具は使った人がかたづけるべきだと思います。図書館の本も、 使った人が元の場所にもどせば、次に使う人は気持ちよく利用できると思います。 (74字)			
詳しく書き直すために、【西田さんの話】を用いながら、反対する理由を明確にして書くようとし ている丸山さんの意図を捉えることができていないと考えられます。			
99	上記以外の解答	2.5	
0	無解答	9.5	
R4年度 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会 資料			

自分の考えが伝わるように書くためには、目的や意図に応じて、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合を、自らが判断して書くことが重要である。その上で、事実と感動、意見とを区別して書くことができるように指導することが大切である。自分の考えとそれを支える理由や事例と言った関係性が明確になっているか、事例は客観的な事実裏付けられているかなどを確かめて、自分の考えを深めることができるように指導することが効果的である。

【解答類型3】

予想される反論について、説得力をもたせるために、インタビューで分かった意見を取り入れることをしていない。

【解答類型4、5】

予想される反論に反対する理由、また、なぜそれがよくないのかという理由を書かずに、自分の意見だけを述べている。

- ↓
- 解答類型を基に分析すること。また、児童もそういう目で自分の文章を見たり、友達へアドバイスするコメントが書けるようにする。
 - 文章を書く動機や伝えたい気付きに出合わせる学習課題の設定をする。

協議題② 全国学力・学習状況調査による課題

「読むこと」領域における課題



- ・ 目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることに課題がある。(r3)
- ・ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。(r3)
- ・ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに課題がある。(r4)
- ・ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。(r4)
- ・ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題がある。(r5)
- ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。(r5)

ア 構造と内容の把握 (説明的な文章)	ウ 精査・解釈 (説明的な文章)	オ 考えの形成	カ 共有
イ 構造と内容の把握 (文学的な文章)	エ 精査・解釈 (文学的な文章)		

【課題】説明的文章

文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けること

- ↓
- ・ 情報の扱い方に関する事項とのつながりを考えながら教材の分析を行い、焦点化して改善を図ることが大切。

【課題】文学的文章

叙述を基にとらえることや人物像や物語の全体像を具体的に想像すること

- ↓
- ・ 知識及び技能の支えが必要。語彙、文や文章、表現技法、読書の内容など、知識及び技能をどのように具現化できるのか教材を分析することが大切。また、どのような言葉による見方、考え方を働かせるのか、育成する指導事項を明確にして、判断することが大切。

知識及び技能における課題



- 文の中における主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係を捉えることに課題がある。(r3)
- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることに課題がある。(r4)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。(r4)
- 日常よく使われる敬語を理解することに引き続き課題がある。(r5)
- 原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題がある。(r5)
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。(r5)

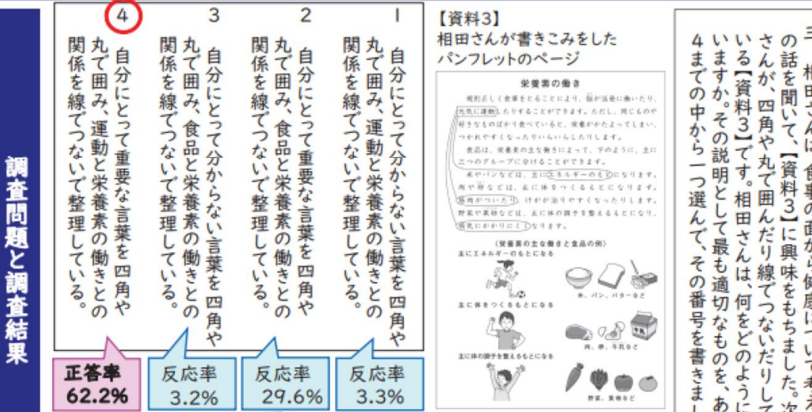
○知識及び技能は、どこかの領域とかかわりながら、言語活動を通して学習をしていく。
○習得しながら、適用範囲を広げたり、概念化してみたり、再構築してみたりすることを意識しながら、どの領域のどのような学習活動の中で行えるか、単元を構想する段階の力が求められる。

知識及び技能における課題



課題を踏まえた指導改善のポイント②(情報の扱い方に関する事項) 問題2三

② 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う指導の充実



【解答類型2】
語句と語句を線でつなぐなどの表し方は理解していても、語句の意味や、語句と語句との関係を理解していない児童がいたと考えられます。

R5年度 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会 資料

運動の面から健康について考えてきた相田さんが、食事の面から健康について考えている友達の話聞いて、資料3に興味をもって読み、情報を整理している場面。

【解答類型2】

語句の意味や、語句と語句との関係を理解していない。



○関係の表し方の理解に加えて、どのような関係で情報と情報を整理しているのかという意図を考えることが大切。

協議題② 全国学力・学習状況調査による課題

学習指導要領における内容
〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能
(2) 情報の扱い方に関する事項
イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の
表し方を理解し使うこと。

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の
表し方を理解し使う

情報と情報との関係付けの仕方として、例えば、複雑な事柄などを分解して捉えたり、多様な内容や別々の要素などをまとめたり、類似する点を基にして他のことを類推したり、一定のきまりを基に順序立てて系統化したりすることなどがあります。
図などによる語句と語句との関係の表し方とは、複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句とを線でつないだりするなど、図示することによって情報を整理することです。図示などにより語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができていることを理解し、そのよさを実感できるようにすることが大切です。
〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の指導事項との関連を図り、指導の効果を高めることが考えられます。

「令和5年度【小学校国語】報告書」
大問2 授業アイデア例参照



・ 情報の関係付けの仕方について、単に丸で囲んだり、線で結ぶというだけではなく、**なぜそれを結んでいるのかという考えを明確にする習慣を付けることが大切。**

↓
○ **授業アイデア例**を使いながら、知識及び技能と、思考力、判断力、表現力等と関係付けた授業を実践することが有効。

R5年度 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会 資料

協議題② 全国学力・学習状況調査による課題～好事例の紹介～

- ① 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。（話すこと・聞くこと）
- ② 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。（話すこと・聞くこと）
- ③ 図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。（書くこと）
- ④ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。（書くこと）
- ⑤ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。（読むことの説明的な文章）
- ⑥ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。（読むことの文学的な文章）
- ⑦ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。（読むこと）
- ⑧ 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること（知識及び技能の情報の扱い方に関する事項）
- ⑨ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと（知識及び技能の情報の扱い方に関する事項）

協議題② 事前説明



- ① 44 大分県
課題を改善するための研修会 事例 学習意欲を高める工夫
- ② 38 愛媛県
無解答率に着目 CBTの活用 事例 場面毎の指導のポイント
- ③ 49 仙台市
長期研修→授業発表 事例 具体的な成果物の評価規準
- ④ 23 愛知県
学習経験の少なさに着目
「授業アドバイスシート」で具体的な子供の発言を提示
- ⑤ 25 滋賀県
「読み解く力」として一体的な取組
事例 子供の姿と手立ての充実

協議題② 事前説明



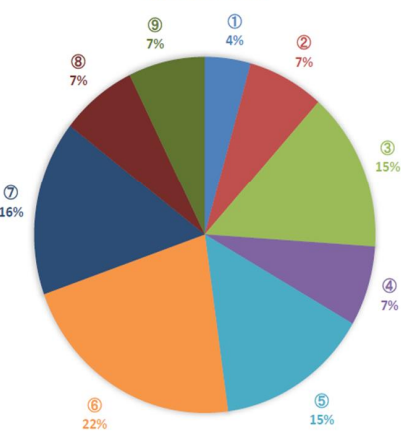
- ⑥ 48 札幌市
調査結果を保護者に伝える情報発信
事例 主体的に学習に取り組めるようするための方法選択
- ⑦ 19 山梨県
指導事項に正対した事例 解釈のみに終わらない展開の工夫
- ⑧ 20 長野県
「思考力、判断力、表現力等」と関連させたオンライン研修会
- ⑨ 52 川崎市
事例 ノートの具体
「思考力、判断力、表現力等」と相互に関連した育成の様子

協議②まとめ



- ・「話すこと・聞くこと」…11%
- ・「書くこと」…22%
- ・「読むこと」…53%
- ・「知識及び技能」の情報…14%

課題別割合



- ①互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること
- ②目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること
- ③図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
- ④文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところ見付けること
- ⑤目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること
- ⑥人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること
- ⑦文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること
- ⑧原因と結果など情報と情報との関係について理解すること
- ⑨情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと

- 「読むこと」の割合が50%を超えている。
↓
・「読むこと」=「国語」というイメージが残っている可能性。
- 全国学力学習状況調査の対象が6年生であるため、高学年の事例が集まることが予測されたが、実際は低学年、中学年から集まっている。
↓
・低学年からその系統を積み上げていくことの重要性が浸透してきている。

全体まとめ

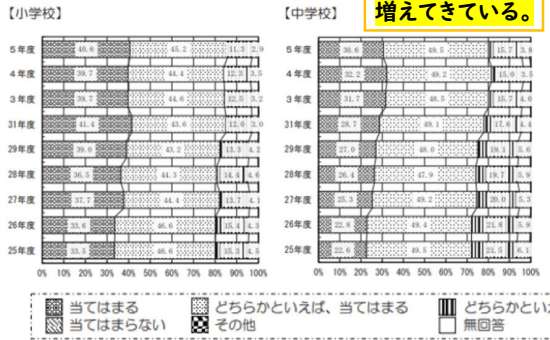


協議①学習評価に関する課題
協議②全国学力・学習状況調査による課題

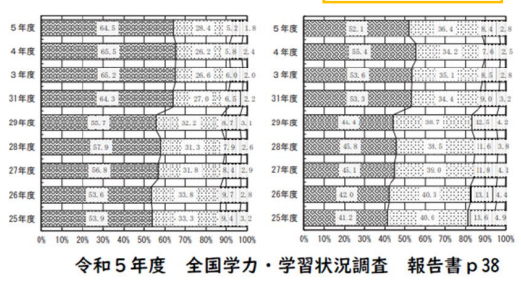
- 継続的な分析調査
- 「何のために学ぶのか」国語科を学ぶ意義を共有

- 課題に対して、
・指導事項が具現化された具体の姿をどう言語化していくか
・その課題について、ある程度のスパンを持って継続的に見ていく
という両方の視野が必要。
- 「何のために学ぶのか」
↓
言葉を使って、世の中とコミュニケーションをとれるようにするために、国語科は言語能力を育成していく。自分が学びの主人公であるという意識。そのために読んだり、書いたり、話したり聞いたりする。そしてそれを支えるための知識・技能がある。国語科を学ぶ意義を共有することが大切。

質問番号	前回の調査との比較	今回の調査との比較	質問事項
小 4 5	→	↑	国語の授業の内容はよく分かりますか
中 4 9	→	↑	



質問番号	前回の調査との比較	今回の調査との比較	質問事項
小 4 6	→	↑	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
中 5 0	→	↑	



令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書 p 38

■ 当てはまる
■ 当てはまらない
■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない
■ その他
■ 無回答